

研究課題名： 当院における NSTI（壊死性軟部組織感染症）の治療成績、転帰に関する因子の評価 —形成外科の介入による影響

所属(診療科)： 形成外科

研究責任者(役職)： 横山 愛、高瀬 税(部長)

研究期間:2018 年 12 月の倫理審査承認日から学会、学術誌の公開まで

研究目的と意義:

NSTI は稀な疾患ですが、発症から急速に進行し死亡率も 3 割前後と報告されており、当院においても治療に難渋した経験がありました。基本的には早期の診断と外科的治療（壊死組織のデブリードマン）が重要とされていますが、その他にも転帰に影響を与える因子について過去の症例を調査し検討することで今後の診療に役立てたいと考えます。また、形成外科が介入する影響についても検討します。

研究内容:

●対象となる患者さん

2009 年 1 月から 2018 年 1 月までの期間に当院に入院となり、最終診断が壊死性筋膜炎、フルニエ壊疽、ガス壊疽のいずれかである患者さんを対象とします。

●利用する情報/資料

年齢、性別、基礎疾患や既往歴（糖尿病、血管疾患など）、血液検査データ、培養検査、入院経過（手術までの日数、入院日数、身体所見）、転帰、手術・診察所見の記録を用います。

● 研究方法

後方視的に上記の情報を収集、解析して、当院における NSTI の治療成績、死亡リスクとなる因子の検索、形成外科介入の有無やその時期が転帰や入院期間に影響を与えるかについて検討します。結果は国内の学会および海外学術論文での発表を予定します。いずれの場合にも患者さん個人を特定できる情報は一切含まれません。

問い合わせ先：【研究担当者】 氏名:横山 愛

住所:〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話:046-823-2630 FAX:046-827-1305 受付時間:月~金 9:00~17:00(祝・祭日を除く)